

園聖句：私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である。(ヨハネによる福音書15章5節)

年主題「ともにあるこう～愛を感じ～」

月主題：わくわくする

月聖句 その人は豊かに実を結ぶ(ヨハネによる福音書15章1節)

乳児月目標 ・保育者や友だちと一緒に祈り歌おうとする。

- ・家族、保育者、友達などいろいろな人の触れ合いを喜ぶ。
- ・のびのびと表現したことをまわりの人に受け止めてもらう。

幼児月目標 ・遊びに熱中し、繰り返し取り組む事が楽しくなる。

- ・生活が変化する中で、自分の経験や思いを伝える楽しさを知る。
- ・散歩に出て風や香りを感じて自然に触れる。

11月、秋の深まりとともに、子どもたちの遊びも、友だち関係も「深まる」時が巡ってきました。時折吹く北風の冷たさにブルッと身震いするのは、木々も同じなのでしょう。秋の深まりと共に、赤やオレンジ、黄色の濃淡入り混じる様々な木の葉が、あちらこちらの木からはらはらと舞い落ちてきます。神様がくださる美しい自然のプレゼントをお友達や仲間と共に楽しんで欲しいと思います。今月は「収穫感謝」の月です。園でも27日に収穫感謝の礼拝を守ります。神様のめぐみに感謝して礼拝を捧げたいと思います。

この時期に流行しやすい感染症(インフルエンザ等)には特に気を付けなければいけない季節になりました。子ども達の健康管理、安全対策に取り組んでまいりたいと思います。引き続き保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(園長 中江奈穂美)

## 10月の行事予定

3日(月) ばらグループ替え

(ばらのグループが変わることで、さくら・ゆりのお相手が変わることがあります。)

たんぼぼ面談期間～10/21(金)まで(1:30～ 2:00～)

ばら面談期間～11/18(金)まで(3:30～)

5日(水) お誕生日参観の日(9:30～12:00まで)

12日(水) お弁当の日

さくら・ばら・ゆり八瀬野外保育センター園外保育

\*9:00までに朝の用意が終わるように登園して下さい。

14日(金) さくら はみがき教室 \*この日から、歯ブラシを毎日持って来て下さい。

15日(土) ゆりクラス懇談会 9:30～11:00 11:00～12:00(茶話会委員会)

さくら・ばらグループ懇談会 1:00～2:30

19日(水) おいもほり(雨天20日)

21日(金) ゆり はみがき教室

22日(土) すみれ親子遠足…9:30～12:00 すみれクラス懇談会…12:00～13:00

26日(月) 内科検診 2:00～

27日(木) 歯科検診 9:00～

28日(金) ばら はみがき教室

◇おいでよ赤ちゃん 15日(9:30～10:30)

◇園庭開放 12日 26日(10:30～11:30)



## クラス懇談会中の保育についてのお願い

- ご両親揃ってお休み、おじいちゃん、おばあちゃんの協力が得られるなど、お家でお子さんが過ごす事が出来るご家庭は御協力をお願いします。
- クラス懇談会に参加している間保育を希望される方は、土曜保育希望用紙に保育時間を下記のように記入をお願いします。

ゆり:ゆりの妹弟…9:15～11:00(11:00～12:00 茶話会打ち合わせ)

さくら・ばら:さくら・ばらの妹弟…12:45～14:30

ゆりの懇談会とさくら・ばらの懇談会に参加…9:15～14:30

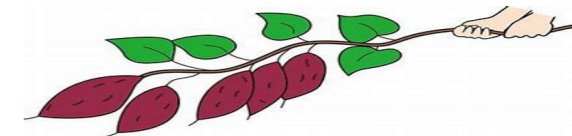


## ～うんどうあそびの日 久しぶりの卒園児リレー～

今年のうんどうあそびの日は、卒園児4年生～6年生の参加でリレーをすることにしました。参加の申し込みが少なく、保護者の方に参加を呼びかけてもらいました。当日は、4年生・6年生16人が集まり、リレーを行いました。久しぶりに会う卒園児を見て、大きくなったなあと感じ、来てくれたことに嬉しく思いました。また、保護者同士が卒園しても繋がっていること嬉しく思いました。初めて卒園児リレーを見る幼児の子ども達は、目を輝かして卒園児が走る姿に釘付けでした。走り方やスピードの早さに幼児の子ども達も、「すごいなー」感じたことと思います。「卒園児リレーあるの?」「バザーあるの?」「ボランティアはあるの?」と、園に来ることを楽しみにしてくれている卒園児の言葉を聞くと、後援会の取り組みのおかげだと感謝しています。卒園してからも、子ども達の成長を見られることはとても嬉しいことです。

来年度は1年生～6年生の卒園児リレーができればと思っています。

## 今年もおいもほりに行きます!



春から夏にかけて、園庭のプランターで色々な野菜の水やりをしながらお世話をし、作物の収穫も楽しみました。また、作物の育ちを目で見て身近に感じた子ども達でした。秋は桂川の河川敷の畑でおいも掘りをします。一生懸命土を掘り、お芋を発見し、出てきた時の子どもの「やったあ!見て!」の顔は、自分の手で収穫した喜びにみちています。お芋だけでなく、畑の中の虫にも歓声が上がリ、心も体も自然に触れるひと時です。実りの秋に心を動かし感じることでできる時としたいと思います。収穫したさつまいもは、給食やおやつで味わいます。こうして子ども達が収穫の喜びを経験出来るのは、毎年子ども達がおいも掘りを楽めるように、畑に苗を植え、夏水やりをして子ども達の為に育てて下さる畑の方の働きがあるからです。たくさんの方々から私達園の保育が支えられている事を感じ、園につながって下さる方の力に感謝する一日でもあります。

今年のバザーは、11月3日(木)～11日(金)のバザー期間で行います。

今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、例年通りのバザーは行えませんが、『毎年幼児の子ども達が行っている震災支援の取り組みは行わせて頂きます。』震災支援の取り組みは、2016年4月14日に起こった熊本地震がきっかけでした。子ども達に熊本で地震後何が起きているのか、自分に何が出来るのかを礼拝で話して考えていきました。その中で献金の話が子ども達の方から出てきたことで、バザーの震災支援のコーナーの取り組みがはじまりました。毎年、選択自由あそびなどで楽しんでいるあそびの中から子ども達と相談して商品を作成しています。この取り組みを通して子どもに自分が持っている力が誰かの喜びになる事を感じてほしいと願っています。バザー期間に震災支援コーナーを1階と2階のフロアーに設け販売させて頂きます。どうぞ、ご協力よろしくお願いします。尚、震災コーナーの利益は、私共の園が所属している日本キリスト教保育同盟を通して震災復興のクリスマス献金として送らせて頂きます。